＜市民討議用ドラフト（未完成版）＞ あなたの声で完成させる、7つの政策提案・第1次公開草案

【政策提案 No.1】サバイバル・リテラシー向上プロジェクト ～「かもしれない！」の魔法♪～

【身体・生命を守る】対人防犯・交通安全 | **【現代社会の罠から守る】**金融防犯・サイバー防犯 | **主体安全教育（サバイバル・リテラシー）**：「義務・受動脳」から「権利・自己防衛脳」へのパラダイムシフト。ルール遵守の思考停止を脱却し、市民自らが身と財産を守り抜く地域協創プラットフォーム

【概要（Executive Summary）】

都市化・デジタル化の進展に伴い、「ルール遵守でも巻き込まれる事故」や「闇バイト・SNS投資詐欺等の巧妙な犯罪」が激増。これに対し、行政・学校の画一的ルール教育（受動脳）を補完し、市民自らが危険を能動的に予測・回避する**「サバイバル・リテラシー向上基盤」**を社会実装する。 自動車教習所の「かもしれない運転」を生活・防犯全般へ拡張し、第一弾「青信号の渡り方（交通安全）」を皮切りに、高齢者の特殊詐欺、若年・現役世代の闇バイト・投資詐欺防犯へ段階的展開。市民のボトムアップで危険の種を吸い上げ、音楽・エンタメ・メディア連携を通じて全世代へ浸透させ、不幸な事件・事故を未然に防ぐ「安心・安全なまち」を実現する。

【政策提言体系整理】

構成項目	主要論点・政策思想（キーワード・具体策）
1. 政策背景・構造課題 （なぜ今必要か）	① **「受動的なルール遵守（義務脳）」の限界と思考停止の罠**：「青信号＝安全」「大手・公認＝安心」という思考停止が、無法車両や巧妙な詐欺・闇バイトに対する無防備を生む構造的脆弱性。家庭・学校・地域の安全教育機能の低下と共働き化により、日常的な危険予知・自己防衛の伝承が断絶。 ② **巧妙化する現代の脅威（交通・金融・ネット犯罪の急増）**：高齢者を狙うオレオレ・還付金詐欺の高度化と、若年層の闇バイト（トクリュウ）巻き込み、現役世代を狙うSNS投資詐欺の猛威。行政・警察のトップダウン啓発は情報伝達が遅く、被害発生後の対症療法に終始。
2. 政策アプローチ・内容 （具体的施策）	① **「かもしれない思考」の全世代社会実装（受動脳から自己防衛脳へ）**： 教習所のプロ知見を生活全般に応用（「車は止まらないかも」「うまい儲け話や高額バイトは罠かも」）。第一弾「青信号だけど大丈夫かな？（ジロジロジロ見）」運動を起点に、危険を能動的に疑う文化を定着。 ② **ボトムアップ型・共創啓発エコシステム（エンタメ×市民データ化）**：お堅い啓発を排し、楽曲フェス（サバフェス）、絵本、SNS動画等による親しみやすい多面展開。学生の探究学習や地元クリエイターと連携し、市民が体験した「身近な危険の種」を蓄積・発信する基盤を構築。
3. 行政の役割・施策 （公的支援・制度設計）	① **官民学連携「知多北部主体安全教育コンソーシアム」の創設**：生活圏・通学圏に即し、行政（教育課・交通防犯課）、警察、教習所、金融機関、市民シンクタンク（CNP/東海クロス・ラボ）の広域協定を締結。 ② **学校教育・公民館・高齢者サロンへの体験型講座の公認導入**：探究学習や地域サロンで「疑ってみる視点ワーク」「実践型詐欺・闇バイト防犯シミュレーション」を出前講座化。 ③ **地域メディア・官民インフラを活用したプロモーション支援**：防災ラジオ（メディアスエフエム）、公共サイネージ、広報誌での発信支援と協賛企業へのCSR/SDGs認定制度。
4. 期待される効果 （三方良しのインパクト）	**【東海市・知多北部から全国へ先駆ける『三方良し＋市民防衛』の波及インパクト】** ① **市民・子ども・高齢者（自己防衛力の獲得・生命と資産の防衛）**：横断事故・巻き込み事故の未然防止、特殊詐欺・闇バイト被害ゼロ化、自ら判断する力（自己肯定感）の向上。 ② **行政・警察・教育現場（社会的損失抑制・指導負荷軽減）**：事故・事件対応に伴う行政・医療・警察コストの大幅削減、形骸化した安全教育の実効性向上。 ③ **地域企業・民間事業者（信頼向上・地域貢献）**：教習所・金融機関・地元企業のCSR価値向上、協創による新たな地域見守り網の確立。
5. ロードマップ （社会実装フェーズ）	① **Phase I（基盤確立・代表作／～2027年度）**：交通安全（青信号の渡り方）の楽曲フェス・動画展開、行政、行政中間組織、自動車学校、学校、子供向け飲食店、市民団体等との連携実証モデル確立。 ② **Phase II（領域拡大・金融防犯と特殊詐欺対策／2028年～2029年）**：高齢者向け「特殊詐欺撃退プログラム」、若者向け「闇バイト・SNS投資詐欺リテラシー教育」へ拡張。 ③ **Phase III（自走型社会インフラ化・広域展開／2030年～）**：市民投稿型「危険の種アーカイブ」のAIデータベース化、知多半島および全国自治体へパッケージ横展開。

出典：市民ボランティア活動「東海クロス・ラボ」7つに政策普及提案【政策提案 No.1】（20261110）